

5 学校から保護者へのアプローチを行う

保護者の中には、子育ての悩みや不安を誰にも話すことができずにいる方もいます。一人で悩み続けているうちに、抱えきれなくなり、思い余って学校にぶつけるところから、学校問題が始まることもあります。

学校として、学校便りや保護者会等を利用して、様々な機会をとらえて、学校とつながることの大切さを知らせていきましょう。

連絡帳を上手に使いましょう！ ～学校便りや学年便りのコラムの例（小学校）～

連絡帳は、家庭と学校を結ぶ大切なツールです。子供が連絡事項を記載するだけでなく、時として、家庭からの情報発信の手段としても活用することができます。

『Aの友達関係で心配なことがあり、御相談したいのですが、お時間をいただけないでしょうか。』

相談の内容を端的に伝えることで、担任は、事前にA君の友達関係の様子を観察することができました。そして面談では、保護者と情報共有をしながら、解決に向け、手だてを一緒に考えることができました。

心配なことがたくさんあっても、そのすべての内容を書くことは避けましょう。子供がその内容を持ち歩くことになります。詳しいことは、担任に会って直接伝えることが大切です。

学校だけ、保護者だけではなく、学校と保護者共に話し合いながら、よりよい方法を探ることが問題解決の一番の近道です。

電話連絡時のお願い ～学校説明会資料や学年便りの記事の例（中学校）～

『学校に電話をしてもいつも通話中です。』『担任の先生をお願いしても授業中だったり、会議中だったり、いつも連絡がつかません。』と言う声が聞かれます。せっかく電話をいただいても、お応えできないことが多くあるようで、大変恐縮しております。電話での連絡をスムーズにするために、次の点について御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

○平日8時30分前後は、朝の打合せや行事及び生徒への対応等で、教員が電話に出ることが難しい状況にありますので、緊急連絡以外はこの時間帯を避けてください。

○授業時間帯の電話は、副校長又は事務室職員等が対応します。

・連絡を取りたい教員名を告げるとともに、内容を簡潔にお話してください。

・当該の教員が対応できない場合は、折り返し休み時間や放課後に電話をさせていただきます。

○お子さんの生活や学習面などの御相談は、直接担任と会ってお話することをお勧めします。

・電話だけのやり取りでは、細かいニュアンスや気持ちが伝わりにくいことがあります。

・関係する複数の教員やスクールカウンセラーがお話をうかがうこともできます。

○子供は成長とともに親に話すことが少なくなりがちです。心配事や次のようなことにお気づきのときは、早めに学校に御連絡をお願いします。

・言葉遣いが急に乱暴になった。 ・持ち物がよくなる。 ・いつも服を汚して帰ってくる。

・買い与えた覚えのないものを持っている。 ・急に無口になり、引きこもりがちになった。

・服装や髪型を過剰に気にするようになった。 ・帰りが遅くなった。 ・交友関係が変わった。

・学習意欲がなくなった。 ・おどおどして落ち着きがない。

入学のための「1日入学」での配布物より ～特別支援学校小学部の例～

4月から入学する子供たちを迎えるために、「1日入学」を設定しています。

当日は、入学予定の新1年生とその保護者が来校して、学校に慣れるための大切な第一歩を踏み出すときです。

本校では、保護者にお渡しするプリントの中に、困ったときの学校への連絡等について次のような内容をお伝えして、安心して学校に情報をお寄せいただけるようにしています。

<困ったことがあったら>

・ 困ったことがあったら？

→ まず担任に御相談ください。保健室や他の教科担当への相談も担任が連携をとるようにします。

・ いつ、どこで？

→ 登下校時の連絡帳や、放課後等に電話をいただいてもかまいません。

・ 困ったこと以外でも話がしたい

→ 学期始めと終わりに面談期間を設けています。また、家庭訪問等も御活用ください。それ以外でもきちんとお話を伺います。

・ 授業を参観したい

→ いつでも可能ですが、校外での活動予定もありますので、前日までに御連絡をいただきますようお願いいたします。

こんなときは学校に連絡を！ ～入学説明会資料中コラムの例（高等学校）～

保護者の方から、「高等学校は小・中学校とは違って、学校に行く機会が少ないし、子供も学校のことを話さないのだから、学校での様子が分からない。」という声を聞くことがあります。保護者の方が心配される点はたくさんあることと思います。気になることがありましたら、遠慮なく担任に御相談ください。

たとえば…

<学習について>

・ テストはある程度点数が取れているのだが、成績が伸びない。授業中の様子や提出物の状況はどうだろうか。

・ 病気のため一週間授業を受けられなかった。進級の条件を詳しく知りたい。

<生活について>

・ 最近、生活習慣が乱れて、朝起きられないことがある。登校しても途中で戻ってきてしまう。授業中の態度や遅刻などの状況について聞きたい。

・ 最近見慣れない持ち物が増えている。友達にもらったと言うが、交友関係が心配だ。

<進路について>

・ 大学進学を考えているが、経済的に余裕がない。奨学金はどういう場合にもらえるのか。

・ 推薦入学制度があると聞いたが、どのような条件が必要なのか。

もし、身近な誰かに、ちょっとしたことを話すことができれば、それだけで不安が解消できることもあるでしょう。わが子だけでなく、近所の子供や同級生など、様々な子供の成長を共に支え合えるような保護者同士のつながり、地域とのつながりを工夫することで、学校を支える仕組みづくりが、各所でも試みられています。